



【私立高校受験の準備と注意】

1. 入試前日《2月9日（日）》

(1) 受験案内と受験校のHP、交通手段や集合時間の確認をしておく

(2) 当日、持参するもの

- ① 受験票（絶対に忘れない）・受験案内
- ② 交通費（往復分＋ α ・電話代）
- ③ 筆記用具（鉛筆は3～4本用意・コンパス・定規など）
- ④ 腕時計（通信機能や計算機能のないもの）
- ⑤ 昼食（外食禁止、購入する場合はできれば家の近くで購入）
- ⑥ 上履き【体育館シューズ】（記名し清潔にしておく）、くつ袋。
- ⑦ 参考書、教科書など
- ⑧ その他、高校から指示されているもの（実技関連で必要なものなど）

(3) 服装等の準備

標準服（学校に登校するルール通り） 【移動中、名札は出さないよう注意】

※男女とも上の標準服を着る方が望ましい。

※面接がある場合は礼服スタイルが好ましい。（女子はネクタイを忘れない）

2. 入試前夜《2月9日（日）》

(1) 持ち物や服装、身だしなみ（爪など）の確認。（天気や交通経路も）

(2) 勉強は、学習のまとめを見る程度にしておく。

(3) 生ものや刺激物を避け、睡眠をしっかりとる。

3. 入試当日《2月10日（月）》

(1) ゆとりを持って起床し、朝食などの身支度をする。

※不測の事態（体調不良や遅刻）があれば、まず中学校に連絡をする。受験校には直接電話しないようにしましょう。董中学校（☎06-6931-0237）

受験会場には、30分前には到着できるようにすること

(2) 出発の前の注意

- ① 所持品（特に受験票）・服装の確認
- ② 友達との待ち合わせでは思わぬ、勘違いやくい違いがおきるので注意する。
ひとりで受験校に行けるように、行き方を確認する（人任せにしない）
- ③ 受験校までの経路は事前チェック表の通りに行く。
※公共交通機関を利用する。自家用車で移動で遅刻した場合は、試験時間の配慮などはされません。自転車での移動も不可。
- ④ 思わぬ事故、天候（雪・豪雨）等で遅れる場合があっても冷静に考え、受験校に必ず行くこと。中学校へも電話する。

- ⑥ 受験校に到着したら掲示等による連絡・注意事項をよく読み、持参の入試要項・案内で受験場所を確認する。
(学校によってはグラウンドに集合する場合もある。放送にも注意。)
- ⑦ 集合時には、先生の説明・指示をしっかりと聞くこと。

4. 受験教室では

どの受験生も自分より賢く見えます。これは相手も同じこと。「できる！」と自信を持って臨もう。

(1) 入試問題が配布されたら

- ① 受験番号等を記入欄にすべて書く。
- ② 自分が、解く問題をきっちりと確認する。(選ぶ必要がある教科も)
- ③ まず、問題全部に目を通し、確実にできる問題から時間を考え、解いていく。難問は後回しにする。
- ④ 採点システム(自動採点)を使用している高校も増えています。特に答案はしっかり、丁寧に書く。(濃く・はっきり・きれいに)
- ⑤ 時間が余れば必ず見なおすこと。(誤字、脱字、単位、記号、記入場所、不鮮明等)できたからといって絶対に机に頭を伏せない。
- ⑥ 不正行為はもちろん、不正行為と思われる行動や態度も気をつける。
- ⑦ 最後にもう一度、受験番号等の記入を確認。

試験終了後は次の受験科目のことを考える。失敗があっても気にしない。済んでしまったことにこだわらない。

5. 受験終了後

- (1) 終了後、試験官の方から指示や連絡などがある場合はしっかり聞く。
- (2) 翌日、面接や実技試験がある人は集合時間や集合場所を必ず確認する。
- (3) 家に帰るまでが受験です。解放感からの気の緩みで思わぬトラブルに発展することもあります。気を引き締め、まっすぐ自宅に帰ること。

これまで努力してきた自分を信じて！当日100%の実力を発揮できるよう、万全の態勢で試験に臨むことができるようにしましょう。

6. 合格発表《2月11日(火)以降》

- (1) 合格した場合は、電話連絡は不要です。必ず学校で担任の先生に報告する。後日、合格通知書などが郵送された場合は、担任へ書類を提出する。お世話になった方々や顧問の先生へも必ず報告しましょう。
- (2) 不合格の場合は、すぐに学校へ電話する。同日中に進路懇談を開きます。